

## 仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	EGFR遺伝子変異陽性肺腺癌における一次治療アファチニブによる獲得耐性機序予測のための基礎的研究
当院の診療科・研究責任者	呼吸器内科 主任部長 菅原俊一
他の研究機関	兵庫県立がんセンター、関西医科大学附属病院
本研究の目的	アファチニブ単剤療法前後のアーカイブ腫瘍組織検体について網羅的遺伝子変異解析を行い、EGFR T790M以外の獲得耐性が成立する症例を予め予測することで、患者の長期生存に貢献することを目的とします。
研究期間	2020年12月1日 から 2021年12月31日 まで
研究の方法（対象となる方）	EGFR遺伝子変異陽性進行肺腺癌であり、一次治療としてアファチニブ単剤療法を施行されている症例です。
研究の方法（利用する情報）	治療開始前、そして明らかな増悪による治療終了後の腫瘍組織のFFPE（ホルマリン固定パラフィン包埋）検体（EBUS-TBNAによる検体、胸水セルブロック検体も許容する）からDNAを抽出します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-222-6181 【担当者】 呼吸器内科 医師 相羽智生
備考	